

**① 研究課題名：**

愛知県における手指切断患者搬送システム（テレトリアージ）の搬送時および病院収容後の治療成績に関わる後ろ向き調査

**② 研究の目的：**

愛知県と名古屋大学等では、共同で重度手指外傷患者を効率的に搬送するテレトリアージシステムを導入しています。テレトリアージシステムとは、救急隊が重度四肢外傷患者と接触した際、インターネットを介して手指の画像情報を名古屋大学等に送付し、名古屋大学等が搬送先に関してのアドバイスを行うシステムです。テレトリアージシステム導入前後を比較した報告では、医療機関への搬送時間が短縮され、搬送先決定までの問い合わせ件数も減少しました。しかしながら、画像情報（切断指の写真画像）からの状態評価の“正確さ”についての検証はされていません。本研究では、救急隊から送られた画像と、搬送後の実際の医師の所見を照らし合わせ、後ろ向きに検討を行うものです。医師間の診断の正確性や救急隊が送る画像の質について評価することは、テレトリアージシステムの問題点の振り返りと、次世代のシステム構築に向けた新しい基準作りになるため、検討を行います。

**③ 研究期間：**西暦 2021年 7月 ～ 2024年 12月 31日

**④ 研究責任者及び研究実施施設一覧**

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター研究責任医師： 整形外科 千田博也  
全体の研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科 四肢外傷寄附講座 建部将広  
研究実施施設：名古屋大学、愛知県厚生農業協同組合連合安城更生病院、愛知医科大学病院、  
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター等（23施設）

**⑤ 研究の対象：**

2011年8月1日から2020年3月31日までの間に、テレトリアージシステムによって名古屋市立大学医学部附属東部医療センター整形外科に搬送され、手指切断に対する治療を施行した方

**⑥ 調査項目：**

対象の方の診療録から以下の情報が収集されます。  
年齢、身長、体重、性別、既往歴、生活歴、職歴、利き手、手術前画像、レントゲン撮影画像、手術法、手術中所見、治療経過

**⑦ 研究の方法：**

研究担当医師は、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を「症例調査票（データシート）」に記入後、名古屋大学大学院医学系研究科四肢外傷寄附講座（建部将広）へ提供します。その後、集計・解析されます。データシートおよび手術前画像とレントゲン撮影画像はパスワードロックをかけてメール送信にて提供されます。

**⑧ 研究成果の公開**

学会等で公表することを予定しています。

**⑨ 個人情報の保護**

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて情報提供されます。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝

えください。この研究に用いるデータからあなたの情報を削除いたします。削除のお申し出をされた場合であっても、あなたが不利益を受けることはありません。

⑩ 利益相反

本研究に関する利益相反はありません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	所属	研究責任者
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 住所：〒464-8547 名古屋市千種区若水1丁目2番23号	整形外科	千田 博也 TEL：052-721-7171（代表）